



(丹精込めた「菊鉢」で境内を飾り参拝者をお迎えしました:2.11.8)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会い(であ)いの時間

## 小僧の目

朝夕の寒さも一段落し、だいぶ春めいてまいりました。▼この一年は、新型コロナウイルス感染により状況は改善しつつありますが、以前の生活環境を取り戻すにはまだまだ時間がかかりそうです。▼なかなか収まることがないコロナの問題を思うとき、心のどこかで自分は大丈夫だと思ったり、自分には関係ないと思う心があるのでないでしょうか。思えば、環境破壊や差別という社会問題も、自分を問題の外において考えている自分に気付き反省することがあります。▼社会の問題は、自らがその行為・行動をするしないにかかわらず自分の問題として考えることを中心掛けなければいけないと思います。▼親鸞聖人は『歎異抄』の中で「さるべき業縁がもよおせばいかなるふるまいもすべし」と申されました。(意訳: 人間がそれでも、しかるべき縁がはたらけば、どのような行いもするものである。)▼縁に触れば、どのような行動をするかわからない自分であることを自覚し、絶えず確かめ続けることが大切なことではないでしょうか。また、他人事として問題を直視せず無知・無自覚に陥ることも避けたいものです。コロナの問題も一人一人が考え、自らができる行動をしていくことが大切だと思います。

釋 宏真

ご寺院行事案内

- 8月1日(日)~5日(木) 第41回早朝連続参拝 前 5:30
- 8月 1日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(月) 孟蘭盆法要 前10:00

ご定例法話会  
案内

- 4月20日(火) 講師 天野真隆先生 (兵庫県)
- 5月20日(木) 講師 横内教順先生 (東京都)
- 6月20日(日) 講師 結城道哉先生 (三重県)
- 7月20日(火) 講師 青木哲隆先生 (富山県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

## トピックス

境内手水鉢近くの松の木が枯れ、昨年二月伐採いたしましたが、掘り起こした根を永く記憶に残したいとの篤い思いから、加工・制作を門信徒の小池健甫様にお願いして、このほど立派な「置物」として甦りました。

「百代の松樹根」との銘板を添えて、会館床の間に飾られていますので、ご参拝の折にご覧ください。



甦った「百代の松樹根」

伐採され残った松の切株  
(撮影2.2.25)

## 婦人部からのお知らせ

コールガンダー（仏教讃歌を歌う会）の活動も新型コロナウイルス感染防止のため休止中です。

地域等の感染状況を見ながら再開時期を検討していきますが、今のところ、今年度後半頃の再開を見込んでいます。ワクチン接種が進み、一緒に歌える日を楽しみにしばらくお待ちください。

新型コロナウイルスの感染状況は、首都圏域では緊急事態宣言は解除されたものの再拡大が懸念されており、また一時落ち着いていた長野県内においても再び感染増加傾向がみられ、引き続き感染防止策の徹底が求められている状態にあります。

このような状況を踏まえ、「新住職就任祝賀・前住職御慰労謝恩会」の開催について協議した結果、「皆様に安心して祝賀・謝恩会にご参加戴くためには、新型コロナウイルス・ワクチン接種が行き渡り、その効果が確認される頃まで延期した方が良い」という判断に至りました。（三月度拡大常任委員会で協議・決定）

祝賀・謝恩会の開催を心待ちにされていた門信徒の皆様には、大変申し訳なく存じますが、事情ご賢察の上ご理解戴きますようお願い申しあげます。

令和三年三月三十一日

門信徒会会長 千原博幸

この件についてのご質問・ご意見は、お寺（☎ 221-2524）もしくは門信徒会長・千原（☎ 221-3085）までお寄せ下さい。

## 令和三年度門信徒会年次総会開催の御案内

日 時 四月二十四日（土）午後六時～七時

場 所 敬念寺会館二階【講堂】

議 題 令和二年度事業報告・決算報告  
令和三年度事業・予算案承認の件

★今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、昨年度と同様の対応となることも想定されます。お世話人の皆様には四月十日頃までにハガキでお知らせします。（総会開催通知又は書面決議通知）

◎総会は地区世話人等の代議員制です。地区世話人等を通じてご意見をお寄せください